森永製菓株式会社
東京都港区芝 5-33-1　〒108-8403
https://www.morinaga.co.jp

NEWS RELEASE

2021年10月25日

地域密着企画！『森永甘酒』ご当地デザイン缶　第１弾

「甘酒　東北限定デザイン」

10月末　東北地方限定で発売

「うんまいんだず～」「飲んでけさいん」など各県の方言 POP で販促活動実施

森永製菓株式会社（東京都港区芝、代表取締役社長・太田 栄二郎）は、甘酒市場のトップブランドである『森永甘酒』から、地域の名物などのイラストを缶にデザインしたご当地「甘酒」を順次発売してまいります。

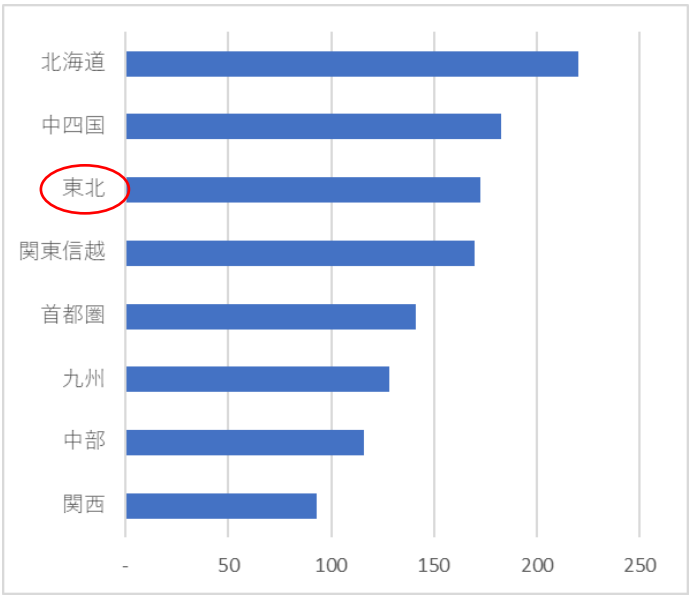
第１弾として、「甘酒　東北限定デザイン」を東北地方のスーパーマーケットやドラッグストア、お土産店で 10 月末頃より期間限定で発売します。

東北地方は一人あたりの甘酒消費量が多い地域で、他の地域より早く甘酒の最需要期を迎えることから、東北地方より発売をスタートします。地元の方にも旅行中の方にも、その地域の魅力を森永「甘酒」とともに、より一層感じ、楽しんでいただきたいと考え企画しました。普段の飲用はもちろん、お土産にもぴったりです。

東北地方では、コロナ禍も相まって段ボールケース（30 缶入り）で購入するお客様が増加していることから、購入時に楽しんでいただけるように段ボールケースも東北限定デザインにしました。さらに店頭でも、「うまいっちゃ！（岩手）」「飲んでけさいん（宮城）」など東北地方の方言を使用した都道府県別の販促 POP を展開するなど売場を盛り上げてまいります。

地域限定の森永「甘酒」の発売や地域の特性に合わせた販促活動など地域密着の取り組みを強化することで、甘酒の飲用機会創出と新たな甘酒ユーザーの拡大に努めてまいります。今後も、古くから甘酒市場を支えていただいている地域を中心に、各地域の需要に合わせて、12 月に九州、1 月に四国など順次発売を予定しています。

一人あたりの甘酒消費量　地域差が大きい



資料：　SRI＋　マーケットシェア　20 年 10 月-21 年 9 月　人口統計　20 年 4 月時点

【森永製菓と甘酒】

森永製菓は、1969 年に瓶入り、1974 年 10 月に缶入りの「森永甘酒」を発売。以降、古くは 1300 年前から飲用されてきた日本の伝統飲料である“甘酒”が、皆様の暮らしにおいて“より身近な飲み物”となるよう、様々な形態や味の甘酒の発売、甘酒の健康価値の研究などにより甘酒需要の拡大に取り組んでまいりました。

今年は、2021 年 9 月に、甘酒缶を 47 年振りにデザイン刷新。TVCM やキャンペーンでは、甘酒缶が 2 種類の発酵素材「酒粕」「米麹」を使用しているという健康価値を訴求しています。コーポレートメッセージに「おいしく、たのしく、すこやかに」を掲げる森永製菓は、これからも甘酒の、おいしさや健康価値を探求し、健康的なライフスタイルの発展に寄与してまいります。

■POP 例

■商品概要

商品名	甘酒　東北限定デザイン
商品特長	・2 種類の発酵素材である酒粕・米麹を使用。厳選された国産の酒粕と米麹をこだわりの比率でブレンドしました。酒粕の深いコクと米麹のやさしい甘み、そして米麹の粒がしっかりと感じられる「食感」「のどごし」もおいしさの特徴です。 ・青森県（ねぶた）、岩手県（さんさ踊り）、宮城県（伊達政宗）、秋田県（なまはげ）、山形県（将棋駒）、福島県（赤べこ）を使用したデザイン ・アルコール分 1%未満
名称	清涼飲料水　甘酒
内容量	190ml
参考小売価格	125 円（税別）/135 円（税込）
発売日	2021 年 10 月末頃より順次切り替え～　2022 年 1 月予定
発売地区	東北地方（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）/CVS ルートを除く
ＪＡＮコード	4902888556081

「甘酒　東北限定デザイン」段ボールケース